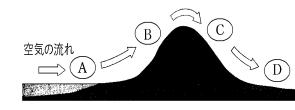
【FdData 中間期末:中学理科2年天気】

[上昇気流のできる原因]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[問題](3 学期)

雲が発生しやすい場所は、次の図のA ~Dのどの場所か。



[解答]B

解説

[上昇気流ができる場合]

- あたためられた空気
- 山の斜面
- ・低気圧の中心付近
- ·前線付近

空気の流れが山の斜面にそって「上草」す る(上昇気流)とき、空気のかたまりは 態・張して温度が下がり、やがて露点に達 して水蒸気が水滴となって雲ができる。 こうして、図の B 付近で雲が発生する。 山の頂上をこえた空気の流れは、今度は 山の斜面に沿ってくだり始めるが、この とき空気は圧縮されて温度が上がり、や がて露点以上になって水滴は水蒸気とな り、雲は消える。

- 一般に、上昇気流ができる原因は、次のようにいくつかある。
 - ・空気が、山の斜面にぶつかることで上 昇する場合。
- ・太陽に光によって地面があたためられ, 地面の熱で地面付近の空気があたためられて膨張すると, 密度が小さくなり,

- [§] かび上がって上昇する場合。
- ・<u>低気圧の中心付近</u>で、まわりからふき 込んだ風が上昇する場合。
- ・ 業冷前線・ 温暖前線・ 停滞前線付近で 発生する上昇気流の場合。
- ※出題頻度(上昇気流ができる場合):「あたためられた空気△」「山の斜面△」「低気圧△」

「前線△」

[問題](1 学期期末)

雲が発生しにくいのはどれか。次から 記号で選べ。

- ア 低気圧の中心付近の空気
- イ 山の斜面にそってふきあがる空気
- ウ 前線付近の暖かい空気
- エ 高気圧の中心付近の空気

[解答]エ

解説

ア, イ:上昇気流が発生するため雲ができやすい。

ウ:暖かい空気(暖気)と冷たい空気(寒気) が接すると前線ができる。寒気が暖気を 押す寒冷前線では、密度がより大きい寒 気が暖気の下にもぐりこむので暖気はも ちあげられて上昇気流が生じ、雲ができ る。また、暖気が寒気を押す温暖前線付近では、密度がより小さい暖気が寒気の上にはい上がって上昇気流が生じ、雲ができる。

エ: 高気圧の中心付近では下降気流が発生し、雲は発生しにくい。

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 空気が上昇することによってできる 空気の流れを何というか。
- (2) 次のア〜エのうち、(1)の原因として 正しいものはどれか。すべて選べ。

ア 山の斜面に沿って空気が上昇す る。

空気が太陽の光で温められる。 暖気が寒気の下にもぐり込む。 ウ 暖気が寒気の上へはい上がる。 工

[解答](1) 上昇気流 (2) ア, イ, エ

[問題](後期期末)

気圧の変化により空気中の水蒸気が凝結する現象は、上昇気流ができるところで起きやすい。自然界における上昇気流のでき方を1つ書け。

[解答]空気が山の斜面にそって上昇する。 (空気が地表であたためられて上昇する。) 【各ファイルへのリンク】 理科1年

[光音力] [化学] [植物] [地学]

理科2年

[電気] [化学] [動物] [天気]

理科3年

[運動] [化学] [生殖] [天体] [環境]

社会地理

[<u>世界 1</u>] [<u>世界 2</u>] [日本 1] [日本 2]

社会歷史

[古代] [中世] [近世] [近代] [現代]

社会公民

[現代社会] [人権] [三権] [経済]

【FdData 中間期末製品版のご案内】

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。 製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4版)で、 印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800~2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」、「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」,編集に適した「問題解答一体形式」,暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので,目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格 理科1年,2年,3年:各7,800円 社会地理,歴史,公民:各7,800円 数学1年,2年,3年:各7,800円 ご注文は電話,メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは、Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】電話:092-811-0960

メール: info2@fdtext.com